練馬

ヒバクシャ署名訴える

主婦の会員も友人に声かけ

夕方の練馬駅頭で「署名にご協力お願いします」の声が響きます。4月9日、練馬支部も加わるヒバクシャ国際署名推進ねりま連絡会で月例の署名宣伝行動を約20人（練馬支部からは6人）で行ないました。

子ども連れの主婦の会の会員（奥）の声かけで署名する男性。右は上原さん

アニメ監督でもある有原誠治さん（海老名香葉子さん原作で東京大空襲を扱った『うしろの正面だあれ』を監督）はマイクを握り、「2016年4月に被爆者の皆さんがあらためて核兵器をなくすためのヒバクシャ国際署名をやろうと呼びかけました。練馬ではすでに1万筆集めました。この署名を8月の世界大会に届けます。しかし核兵器をなくすためにはまだまだ足りません。ぜひ署名を」と切々と訴えました。

帰宅する労働者、犬の散歩をする男性などが足を止めて署名する中、夕方の買い物の時間でもあり、たまたま通りかかった子ども連れの主婦の会の仲間に上原良子常任が声をかけると、快く署名に応じてくれたばかりでなく、通りがかりの友人にも署名をすすめてくれました。

狛江

群会議の運営、どう

分会経験交流集会を開催

【狛江・書記・牧岡善隆記】狛江支部では、3月24日に2回目の分会経験交流集会を開催しました。午前中は本部北川書記次長を迎えて国保の学習会を行ないました。

フロアからの発言をする狛江の仲間

お昼は主婦の会の炊き出しを食べながら、秋から冬にかけての組合活動と群会議や分執の様子を撮影した動画を見て、1時から交流集会を開始。パネリスト方式をとり、分会の代表が交代でひな壇に立ち、活動の紹介をした後、資料を見ながら質問や討議を繰り返しました。司会者から各分会の補足説明や質問などを促す無茶振りをし、その都度、参考になる分会活動やイベントの企画の立て方、群会議での運営の方法などをお互いに聞き入っていました。

「新しい人材が集まらない」「役員の後継者が見つからない」「イベントしても集まらない」など課題はありましたが、触発しあい、あらためて機関会議や組織検討委員会などでも話し合うことを決め、楽しい交流会となりました。

交流ツイッターを開設

現場の情報寄せて

丸の内3−2現場のたたかいから始まった現場情報交流ツイッターに以下のような声が寄せられました。

先日、1次下請の新年会の席で2次の事業主たちに請負単価の10%ダウン、常用単価2000円のダウンが告げられた。原因は資材、運送費の高騰と元請ゼネコンの払い渋り。1次の社長の話では、1次の社長は誠実な人で、我々には法定福利費も工事費もしっかり払ってくれる。元請が業績回復しているので、そろそろ単価も上がるかと思っていた矢先の今回の値下げ、参った。昨年から土曜日休みも増え、職人たちも稼げず困っている。工程も今まで以上にきつく、本当に稼げない。現場の状況は悪くなるばかりで、もう限界。

組合外からの声ですが、仲間のみなさんには同じような思いの方が沢山いると思います。組合に声を寄せていただき、ご一緒に変えていきましょう。

10%、社保改悪ノー

集会後、国会議員に要請

4月3日、第198回通常国会が開かれる中、国民大運動実行委員会などは昼休みの時間に定例の国会行動を行ない、200人（東京土建は79人）が参加し、「消費税増税中止」「社会保障切り捨てるな」「憲法改悪するな」などの声をあげました。

藤野保史衆議院議員の国会報告の後、主催者代表のあいさつで小田川義和全労連議長は「改元があったからといって、モリカケ疑惑、統計不正、アベノミクスの失敗、沖縄での強権政治も免罪されるわけではない。消費税10%ストップの署名を軸に対話を進めよう。今年は選挙の年、安倍政治にノーの明確な審判を下していくために奮闘しよう」などと訴えました。その後、憲法会議、福祉保育労の代表がそれぞれの分野からの発言を行ないました。

参加した相原辰子さん（練馬）は「2%アップといっても消費税はこれで1割になり、（家計や仕事には）重みがある」と話していました。

集会終了後、東京土建の参加者は「庶民増税阻止と社会保障拡充を求める請願書」をもって、議員要請をしました。

2019年度執行部の体制

東京土建は第72回定期大会で2019年度方針と予算を決定しました。そして4月1日に行なわれた第1回中央執行委員会において新執行部の任務分担を以下のように決定しました。

〈委員長〉
松丸一雄（東京原水協代表理事、都民連代表世話人、アスベスト訴訟統一本部長、国保審査会審査委員、拡大推進委員会責任者、総合5カ年計画推進本部長、書記局人事委員会責任者、山梨対策）

〈副委員長〉
佐藤豊（国保組合理事長、護憲平和運動本部長、東京革新懇担当、国民課題運動本部長、マイナンバー反対連絡会担当）
丸山篤義（財政部長、主婦の会担当役員、国保対策委員長、書記局員給与検討委員長、書記局人事検討小委員会責任者、規約・規定改正委員長、統制委員長）
松本久人（どけん共済会理事長、建設首都圏共闘議長、アスベスト訴訟統一本部副本部長）
渡辺義久（技術研修センター理事長、都連技術対策部長、建設キャリアアップシステム担当）
中村隆幸（事業所対策責任者、都心対策、学習制度化委員長、リカコ理事長）

〈書記長〉
小番徹（全体統括、NPO法人東京土建ATEC理事長、全労済都本部理事、東京地評副議長（9月以降）、護憲平和運動本部事務局長、総合5カ年計画推進本部事務局長、組織財政検討委員会事務局長）

〈書記次長〉
渡邉輝明（国保組合専務理事、社会保障対策部、厚生文化部、国民運動本部事務局長、マイナンバー反対連絡会、どけん共済会副理事長、労働共済連副理事長）
北川誠太郎（賃金対策部、職域対策部、労働対策部、産業対策委員会事務局長、アスベスト訴訟統一本部事務局長、建設政策研究所副理事長、東京地評幹事、国民春闘常任幹事、建設首都圏共闘幹事、リカコ理事）
近藤初雄（技術研修センター専務、技術対策部、税金経営対策部、産業対策委員会副責任者、経営センター・総合事業支援センター、脱原発・エネルギー政策、東京自治研副理事長）
熊切健二（組織部、後継者対策部、青年部、事業所対策、主婦の会、シニア、情報戦略責任者、電算室、国保対策）
中原收（財政部、総務、教育宣伝部、学習制度化、機関紙協会都本部理事長、「ひろば」責任者、労金都本部運営委員、会館改装改修）

〈賃金対策部〉
部長・小坂剛常任中執。中村修一専従常任中執。担当中執・小島明（墨田）、伊藤賢司（新宿）、唐鎌昭二（西東京）双木淳志（西部B）。

〈職域対策部〉
部長・後藤英雄常任中執。栗橋宏専従常任中執。担当中執・宮澤和也（府中国立）、古怒田忠（日野）、相山昇司（村山大和）、伊藤仁（多摩南B）。

〈労働対策部〉
部長・横澤勉常任中執。唐澤一喜専従常任中執。担当中執・堀川昭義（江戸川）、佐藤忍（目黒）、矢吹一幸（八王子）、松村健司（東部B）。

〈技術対策部〉
部長・福地孝志常任中執。山本繁樹専従常任中執待遇。担当中執・奥村歳久（文京）、葛西政之（大田）、川口敏彦（調布）、鯉淵勝也（小金井国分寺）。

〈社会保障対策部〉
部長・石村英明常任中執。田村彰宏専従常任中執。担当中執・阿久津正（葛飾）、伊藤勝伸（渋谷）、金子昭二（三鷹武蔵野）、清水政廣（多摩西部）、新関仁（南部B）。

〈組織部〉
部長・檜山剛志常任中執。黒木強専従常任中執。担当中執・渡辺勝二（北）、石井正（港）、阿部秀晴（中野）、宮崎透（西多摩）、松井民人（多摩西B）。

〈後継者対策部〉
部長・石川信一常任中執。五本木宏晃青年部長、中村哲郎専従常任中執。担当中執・武藤彰（足立）、大木栄一（江東）、土橋弘典（豊島）、栄大翔（青年部）、佐藤広平（城北B）。

〈税金経営対策部〉
部長・齋藤誠常任中執。渡辺睦専従常任中執。担当中執・熊切健二（荒川）、小林紀久夫（品川）、前川達夫（清瀬久留米）。

〈厚生文化部〉
部長・芳井武常任中執。松広高幸専従常任中執待遇。担当中執・野崎邦治（板橋）、佐久間法博（世田谷）、新井信道（小平東村山）、大勝友二（江東B）。

〈教育宣伝部〉
部長・上原誠常任中執。三木勉専従常任中執。担当中執・寺山邦裕（台東）、宗像勇（狛江）、三橋誠（多摩・稲城）、関真太郎（多摩北B）。

〈財政部〉
部長・丸山篤義副委員長。大野史専従常任中執待遇。担当中執・福岡忠行（練馬）、松原秀夫（杉並）、尾花慎司（町田）、牧岡善隆（多摩東B）。